

かわねほんちょう 議会だより

第52号

平成30年11月発行

発行 / 川根本町議会
編集 / 議会広報委員会



小学生消火訓練

長尾川河川敷にて



防災訓練

平成29年度一般会計・特別会計決算を認定	2～3
決算特別委員会・委員長審査報告	4～5
議員現地調査報告	6
川根本町景観条例の制定	7
4人の議員が町政を問う	9～12
議員研修に参加し、資質を高める	13

シリーズ

町議会って何だろう？	14
皆さん、知っていますか？ (泉頭四郎兵衛のお話・完)	15
明日を拓く人たち (NPOかわねほん元気村)	16

・ 特別会計決算を認定

て解散した川根地区広域施設組合の一般会計決算の認定についてを決算特別委員会に審査を

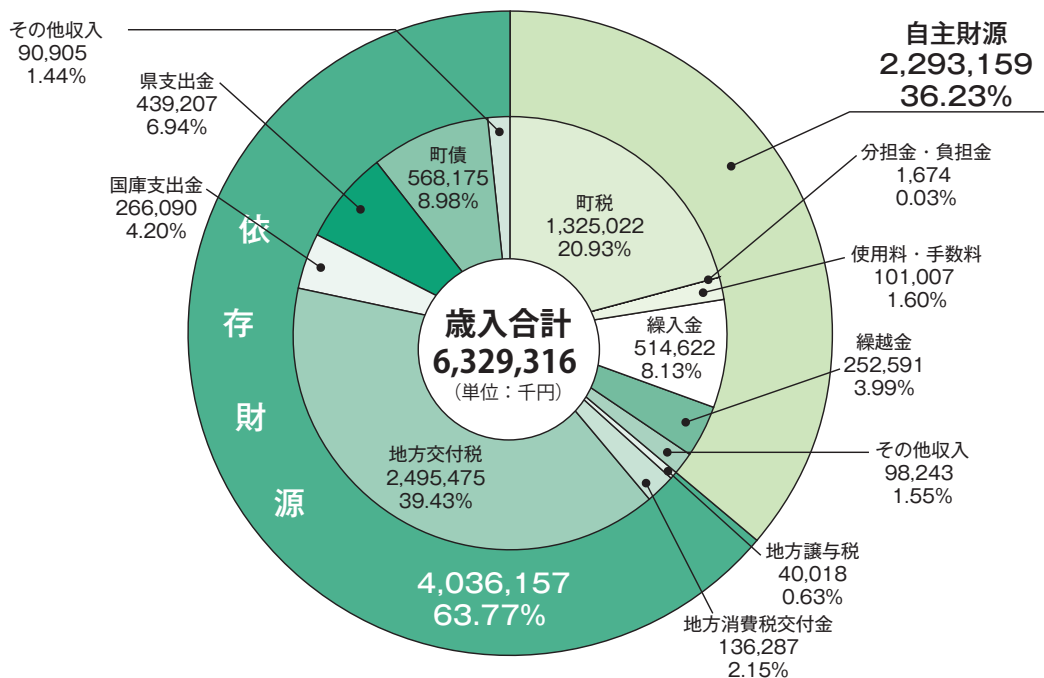
細説明を担当課より受け、委員より多くの質疑や意見が出され活発な決算審査を行いました。の事業会計の決算について採決を行い、認定しました。

☆ 5年間の町税の推移

(単位：千円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
町 民 税	302,038	294,537	302,116	310,847	284,124
固定資産税	1,018,510	1,034,079	1,001,914	981,481	982,780
軽自動車税	21,237	21,594	21,924	25,954	26,363
町たばこ税	33,136	31,391	30,231	28,047	26,217
入 湯 税	5,614	5,339	5,545	5,384	5,538
歳 入 合 計	1,380,535	1,386,940	1,361,730	1,351,713	1,325,022

【平成29年度決算】 一般会計歳入の内訳



こもれび (地名)



貯木場トイレ (桑野山)

平成29年度 一般会計

9月議会定例会では、平成29年度の一般会計及び6事業の特別会計と本年3月末をもつ付託し、9月4日から19日までの間の4日間にわたり審査を行いました。

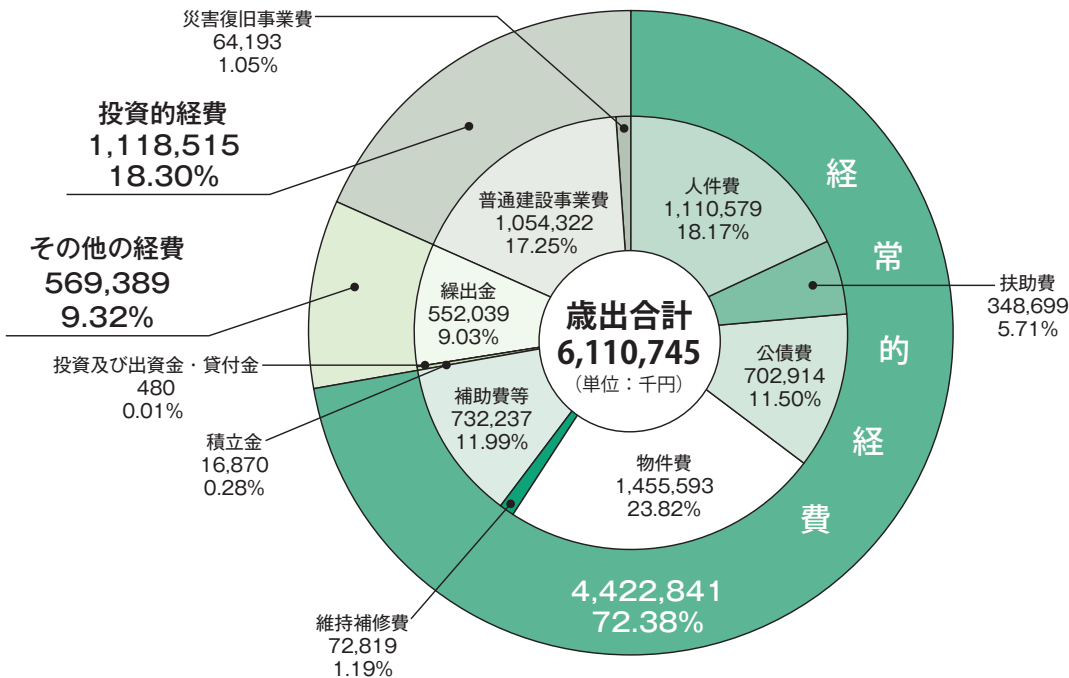
審査は、議員が事前に抽出した一般会計の46の事業を中心に、事業実績や状況などの詳委員会最終日の9月19日には現地調査を行い、その後、平成29年度一般会計のほか7つ

☆5年間の基金残高と起債残高の推移

(単位：千円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
財政調整基金残高	1,680,734	1,681,803	1,684,681	1,687,754	1,190,663
減債基金残高	464,966	94,074	94,094	94,098	87,685
国民健康保険給付等支払準備基金残高	83,037	96,958	110,879	124,796	126,702
介護給付費準備基金	13,101	13,104	32,108	53,111	91,113
簡易水道基金残高	68,293	41,794	24,518	16,475	16,408
温泉事業基金	9,959	9,961	9,964	9,965	9,966
起債残高	5,006,106	5,302,364	5,928,466	5,762,955	5,667,062

【平成29年度決算】 一般会計歳出の内訳



☆特別会計歳入歳出決算認定

(単位：千円)

	年度	国民健康保険	後期高齢者医療	介護保険	簡易水道	温泉事業	いやしの里診療所
歳入決算額	29年度	1,061,012	119,433	1,279,185	187,489	14,638	47,942
	28年度	1,043,515	119,506	1,228,671	204,059	28,209	39,050
歳出決算額	29年度	997,591	119,312	1,236,440	182,255	14,534	47,864
	28年度	1,002,327	119,567	1,149,195	201,284	27,969	38,917
繰越額	29年度	63,421	121	42,745	5,234	104	78
	28年度	41,188	△61	79,476	2,775	240	133
29年度予算額		1,060,708	125,140	1,353,314	186,700	15,762	49,701

《審査日》平成30年9月5日・6日・14日・19日

平成29年度一般会計、特別会計などを 原案のとおり認定しました。



決算の内容等について慎重に審議

9月4日の定例会本会議で、決算特別委員会（議長を除く11名の議員で構成）が設置され、委員長に坂本政司

第二常任委員長が、副委員長に石山貴美夫第一常任委員長が選任されました。

平成29年度の主要事業から議員が抽出した46の事業を中心に審査が行われました。

委員会で審議された内容をいくつか抜粋して報告します。

◎一般会計

・・・全員賛成

○観光商工課

（起業及び事業継続

チャレンジ補助金）

問 複数の起業希望者が共同店舗で起業する場合、各業者が補助の対象となるのか。

答 それぞれの店舗が1事業所としての扱いとなれば対象になると考える。

○農林課

（荒廃農地等利活用促進事業費補助金）

問 単年生の農作物を継続し栽培した場合でも補助の対象となるのか。

答 事業の目的は耕作放棄地を再生することであり、農地として再

生できていれば補助対象となる。

（農業振興費）

問 環境保全型農業補助金とは。

答 有機農業等に取り組み方への補助金であり、平成29年度は2団体に補助金を支出している。

○企画課

（地方創生推進事業）

問 特産品による食のプロモーションとは。

答 創業支援のために講座を開催した。本年は、ふるさと納税の推進で食をテーマとし、

吉田町のうなぎと当町の自然薯を組み合わせたレシピを作成する。

問 お試し住宅の利用状況は。

答 平成29年度に施設を整備し、本年7月から開始し、横浜からの利用が1件あった。委託先のかわね来風、エ

コティかわね及び町で対応している。

○高齢者福祉課

（外出支援サービス事業）

問 サービスの利用実績は。

答 平成29年度は実利用者246名、延べ利用者3千937名。利用者が増加傾向である。

（認知症初期集中支援推進事業）

問 認知症サポーター受講者の内訳と受講後の活動は。

答 養成講座を2回開催し、82名が参加している。中学生には社会

福祉協議会で福祉体験の一コマとして開催しており、話し相手ボランティアや見守りネットワークなどで活躍している。

○建設課

（空家対策事業）

問 空き家等対策協議会の機能と役割は。

答 空き家対策に関する計画の策定と改正及び危険空き家の認定等。今後、地元への情報収集などから調査を行うていく予定。

（TOKAI・O総合支援事業）

問 耐震補強の対象となる物件は。

答 昭和56年5月1日以前に建築された木造建物である。



耕作放棄地を再生したそば畑



あなたの家は大丈夫？！

○健康福祉課

(社会福祉協議会事業)

問 福祉総合相談事業の相談件数は何件か。

答 年間30件を見込み、平成29年度は25件の相談があった。

心身障がい者福祉費

(障がい者自立支援給付費)

問 就労支援サービスの仕事(作業)内容を決めるのは誰か。

答 事業所の運営者、社会福祉協議会である。

○教育総務課

(若者交流センター運営費)

問 3つの寄宿舎の合理化をどう進めていくのか。

答 財政状況が厳しい中、経費の削減等を検討していかなければならない。

(教育振興費)

問 来年度から寸又峡路線バスが廃止となる

見込みだが、通学児童への対応は。

答 児童がしっかり通学できるように関係課と相談し、不備のないように対応、支援したい。



どうなる通学バス？

○社会教育課

(生涯学習推進費)

問 家庭教育学級の活動内容は。

答 幼稚園の保護者、各小中学校の一年生の保護者が対象。各学級での学習会や、年2回の合同学習会等を実施している。

○情報政策課

(地域情報化の推進)

問 停電時における災害対策としての情報伝達手段は。

答 総務課防災担当と調整し、特に夜間については広報車や消防団による巡回広報等を検討している。

○税務住民課 (税務総務費)

問 入湯税の徴収方法及び滞納繰越額は。

答 事業者が預かった入湯税を間接的に納付するものである。滞納繰越額は平成21年度分から平成28年度分まで156万4050円である。時効が成立しないように心掛けて対応している。

○総務課 (災害対策費)

問 停電時かわねフォンでの告知ができない。他の方法を検討するべきでは。

答 現在の仕組みでは、停電時の対応に課題がある。町や消防団による広報やエリアメール、自治会等による広報など、できることは行っていく。今後、発電機の配備なども含めて検討していく。

○くらし環境課 (環境総務費)

クリーンエネルギー機器導入促進事業費補助金

問 機器導入補助率は。また、蓄電池を補助の対象とする予定は。

答 太陽光発電は上限が4キロワット、最大20万円、太陽熱温水器は1件5万円、蓄電池については対象外だが、今後検討していく。

まとめ



- 後期高齢者医療特別会計 … 全員賛成
 - 介護保険特別会計 … 全員賛成
 - 簡易水道特別会計 … 全員賛成
 - 温泉事業特別会計 … 全員賛成
 - いやしのみ診療所特別会計 … 全員賛成
 - 川根地区広域施設組合一般会計(打切り決算) … 全員賛成
- … 全員賛成 決算特別委員長 坂本政司

19日には、現地調査を行いました。次ページで報告します。

現地調査報告... 9月19日



桑野山貯木場

トイレ建設 2130万円

- ★「人と木が集う、地域のにぎわい拠点づくり計画」による
- ★近隣農園・体験学習・他イベント用(バリアフリートイレ有)



地域おこし協力隊「地域産業の活性化の為の創作活動」が目的

ウッドハウス おろくぼ

改修・修繕工事 1120万円

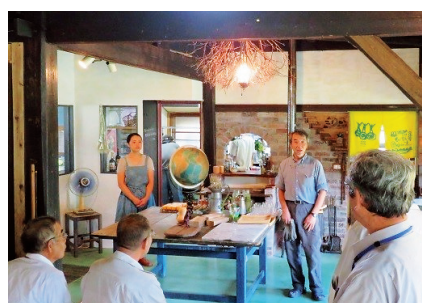
(空調設備・外手すり)

- 指定管理者との契約期間は2021年3月まで。
- 本年8月から管理人が新しくなり宿泊数が増えている。



風と太陽ファーム [風工房] 上岸地区

事業継続チャレンジ補助事業
店舗改修補助 50万円



店主は語る “自家製無農薬野菜・養鶏・生みたての卵をレストラン(風工房)と直線につなげたい”

子育て支援施設 [こもれび] 地名地区

★元地名保育園を改修・遊具等配備 3477万円

- ★利用者 10人 / 1日平均 (大人・子ども)



第一常任委員会審査報告

審査日 平成30年9月13日



(1) 川根本町景観条例 について

この条例は、37条からなり、良好な環境を守り、つくるためのもので、町・町民・事業者が守るべき基本的事項を定めています。

問 重点的に景観形成を図る地区、当初5地区（寸又峡温泉、接岨湖周辺、千頭駅周辺、徳山桜並木、塩郷・久野脇）だが、他の地区から申し出があればどのように対応するか。

答 意見、届け出があった場合、景観審議会で検討する。

問 大規模な建築を行う場合、町への届けが必要か。

答 届けを出し、審査を受ける必要がある。工事着手日の30日前までに提出する。

問 届け出を要する、規模要件は、

答 建築物では高さが10メートル（増築は増築後の高さ）を超えるもの。延べ面積の合計が千平方メートルを超えるもの。工作物も対象となる。

答 担当課と連携して対応することになる。

第一常任委員長

石山貴美夫

9月議会で決まったこと

（平成29年度決算認定議案を除く）

同意2件（全員賛成）

○ 固定資産評価審査委員会委員の選任

筒井佳仙氏（再任）

○ 教育委員会委員の任命

鳥居 進氏（再任）

議案7件（全員賛成）

○ 川根本町景観条例の制定

・ 豊かな自然と、人々の生活が調和した、個性豊かで美しく魅力ある景観の形成を推進し、活力ある町を作るため。

○ 税条例等の一部を改正する条例

・ 地方税法の改正に伴う改正（主にたばこ税の課税方式の見直し）

○ 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

・ 放課後児童クラブ支援員の資格要件を拡大するための改正。

○ 工事請負契約の締結

・ 鳥沢川排水ポンプ設備改修工事（1億206万円）

○ 平成30年度川根本町一般会計補正予算（第3号）

・ 農業IoT事業関連経費、原山飲料水供給施設水源管理道路復旧工事費など4022万7千円を追加。

○ 平成30年度川根本町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）

・ 国民健康保険事業広域化に伴うシステムの改修経費27万円を追加。

○ 平成30年度川根本町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）

・ 平成29年度決算見込みによる介護給付準備基金積立増額と国・県支出金生産の返還金4313万6千円を追加。



7月の大雨により崩落した水源施設管理道路(原山地区)

一般質問

- ・質問の概要を発言順に掲載します。
- ・一般質問のページは、質問した議員が執筆・編集しています。

9ページ	澤西 省司 議員 森林環境譲与税を害獣駆除に
10ページ	山本 信之 議員 財政シミュレーションについて
11ページ	野口 直次 議員 青部の利活用、今後のスケジュールは
12ページ	杉山 広充 議員 学校体制について、町民の声の吸い上げを

4人の議員が町政を問う！
9月定例会最終日に一般質問を行いました

あの一般質問 どうなったかやあ～

Q. 地名・久野脇（南部地区）の振興策は

(平成28年12月定例会 質問者： 藺田靖邦議員)

A. 沿線の拠点駅を起点とした振興が当面この南部地域で進める方策だと考えている。

【現在までに実施した塩郷・久野脇周辺振興策】

- ・平成28年度：久野脇橋（塩郷の吊橋）歩道改修工事
（塩郷の吊橋入口側 歩道整備）
- ・平成29年度：久野脇発電所周辺景観伐採業務委託
- ・平成29年度：久野脇橋（塩郷の吊橋）周辺
遊歩道案内看板設置工事
（しおごう&くのわき おさんぽMAP）
塩郷の吊橋入口付近
久野脇キャンプ場 計2箇所
- ・平成30年度：塩郷吊橋周辺遊歩道標識整備工事
（案内標識13箇所）



効果 環境整備により着実に観光客が増加し、県内外の人たちに注目されつつある。

今後の取り組み 当町の新しい観光体験モデル地区にするため地区住民と共に取り組んでいく。今後、行政もできる限りの支援をし、観光による活性化を図っていきたい。

◎害獣駆除の対策

質問 シカの被害をはじめとする害獣に、町内34地区全てが大変な被害を被っているが、森林環境譲与税を使うことは理にかなっているのでは。

町長 被害については承知している、森林環境譲与税は間伐や人材育成等とあるが、害獣対策も使途の一つと考えている。

質問 猟友会は警察からの銃の安全管理や猟友会を取りまく様々な実情により会員が減少しているが。

農林課長 現在、猟友会会員は63名で、この内猟銃を持っている方は37人と、過去に比べ猟師の減少と高齢化が問題となっている。林業を守るためにも自然の恵みと共に里山に暮らす人たちの生活を守ることが必要では。

質問 町でも狩猟免許取得に対する助成制度をつくったが、新規で銃を持つ方がいない状況で、里山対策として事務局でも案を出しており会議に提案したいと考えている。今後さらなる制度の必要があると思っている。

農林課長 町でも狩猟免許取得に対する助成制度をつくったが、新規で銃を持つ方がいない状況で、里山対策として事務局でも案を出しており会議に提案したいと考えている。今後さらなる制度の必要があると思っている。

質問 平成25年にシカの捕獲報償金が値上げされ、効果があつたと判断できると

思う。報償金の値上げは意義ありと思うが。

農林課長 鳥獣捕獲報奨金は他市町の状況をしながら協議会のほうに諮っていきたい。

質問 猟師減少の最大の問題は報償金が年金と併せて暮らせるレベルになっていないことだと思いが。

農林課長 猟師の減少と高齢化問題は農林課としても大変危惧している、現状を背景に澤西議員の意見・提案なども含め、対策を林業振興対策協議会に挙げていきたいと思う。

猟師がいけない地区が出てきました。「猟友会」存続は町のキーワードだ。



くくり罠で100キロ級イノシシ

◎ドローンの必要性和有効性について

質問 土砂災害が発生した場合には、直後の被災状況の規模や住民の安全確認などをいち早く調査できるのはドローンだと思うが。

農林課長 ドローンでの状況確認にはメリットはあるが、災害時のドローンによる情報収集は、操縦者の安全確保の留意が求められる旨の指針が消防庁より示されている。他市町では操縦技術を有する事業者と協定を結

んでいるところもあり、当町も同様の協定締結の調整中である。

質問 役場はドローンを所有していないが、予算的要因なのか、各課の購入要請がないのか、購入の時期は先と考えているのか。

農林課長 町が職員を操縦者として養成するよりはドローンを活用した情報を専門業者より取得するほうが、有効性・経済性が高いという判断で、購入にいたっていないというところでは、県・静岡市消防局のヘリコプターからの映像を町も活用できる形がある。



澤西省司 議員



ドローンによる地名上空写真

一般質問



山本信之 議員

問 財政シミュレーションについて

答 地方財政運営に臨んでいく

検証していききたい。

質問 町の収益について伺う。

総務課長 町管理河川の砂利採取収入は、

平成19年を最後に町としての歳入は途絶えていく。一例、川砂利に関しては国・県管理区間等に関して、様々な方法での実現の可能性を探っていききたい。

質問 行政と議会の十分な役割について伺う。

町長 健全な町財政運営を図り、全ての職員が財政状況をはじめとする町の情勢を正しく把握し理解した上で、今年度の予算執行においても、町財政状況を常に意識した町政運営を議会とともに推進していききたい。

質問 財政計画シミュレーション（平成28年度～平成43年度）について伺う。

町長 計画的な予算の編成や行政の推進は、今後は向こう5年間程度の短期スパンにおける「投資的経費に充当可能な財源は幾らあるのか。経常経費をどれだけ抑制し、不足分の国・県補助金、起債が可能」といった財政見通しを立て、地

方財政運営に臨んでいく考えである。

質問 町税・地方交付税について伺う。

総務課長 町税・地方交付金とも減少している。歳入規模に見合った歳出に戻していくということが大変重要である。

質問 基金残高について伺う。

町長 今後、町と議会が一体となって地方の厳しい現状と

保有基金の必要性を丁寧に訴え続け、理解を得ることが必要であると考えている。

質問 基金繰入金が平成30年度、平成31年度のマイナス表示について伺う。

総務課長 ゼロという形で基金の繰り入れといった形で表記すべきであった。お詫びする。

質問 公共施設について伺う。

工課長 今年度で指定協定期間開始から3年経過するので、施設の運営状況について

「老朽化により活用が見込めない施設の処分」「施設の目的に応じた地元や民間への譲渡」の内容となっている。今後の施設整備に当たっては大原則として、

質問 ウッドハウスおろくぼ運営について伺う。

工課長 今年度で指定協定期間開始から3年経過するので、施設の運営状況について



今後の運営が期待されるウッドハウスおろくぼ

問

青部の利活用、今後のスケジュールは

答

今年度末までには方向性をまとめていく予定

◎青部駅周辺の利活用

質問 アイデア募集に至った経過について。

町長 現在、町として具体的な利活用計画を策定していない。多くの方から意見を募ることを約束していたため、今回の形で実施した。

質問 地元の要望について把握しているか。

町長 青部区の要望意見は、地区の説明会等で伺っているが、区長には、今後協力をいただき、取りまとめて頂きたい。

質問 今後のスケジュールについて。

町長 アイデア募集の結果を第3回委員会で協議し、平成31年3月をめどに、利活用の方向性を取りまとめていく予定。

質問 委員会の主な目的は。

企画課長 設置要綱に示すように、

駅周辺地域の利活用の検討、委員の自由な意見を頂くため設置した。

質問 埋め立て造成した土地を、いつ頃から利活用できるのか、町民に説明する必要があるのでは。

企画課長 町民へは、委員会の議事録また



アイデア募集、ただいま埋め土工事中

は議会への説明等により行う。

◎登山道の整備等

質問 登山道の定期的巡回整備等は、

町長 町を含め10の団体で組織されている森林レクリエーション推進協議会の事

業の中で整備できるものは対応している。森林管理署、千頭山の会、奥大井・南アルプスファンクラブも、自主的に巡回整備している。今後も情報を頂きながら優先順位をつけ整備していく。軽微なものについては、原材料等を調達しながら進めていきたい。

レッキングツアーや登山ガイド養成講座を実施している。千頭山の会、南アルプスファンクラブ、エコテイクワネなどの協力を頂き、安全の周知を図っていく必要がある。

質問 定期的な登山道の調査巡回等、予算付けしていくべきではないか。

観光工課長 巡回調査などの費用は、登山道の情報確認のため、定期的な調査のためにも必要であると考える。

町長 現在エコツアーリズム事業において、ガイド付き実戦ト



野口直次 議員



ようこそ 大札山へ

一般質問



杉山広充 議員

問 学校体制について、町民の声の吸い上げを

答 研究会等の中で協議する

質問 R G授業の目的、メリット、デメリットを伺う。

町長 教職員を最大限に生かした最適人数による授業実践、

教職員一人一人の指導力の向上である。小規模校の良さを生かしつつ、小規模校のデメリットを克服するための授業を行っている。

杉山 私は、子どもたちが、「R G事業は楽しい」と言っ

ていることを大切に、毎日、いつでも多くの友だちと学習できる環境をつくってやるべきではないかと思っ

てい。あり方検討協議会事業計画書」に基づいての答弁を。

教育総務課長 事業計画書の中で、直接的にどこで吸い上げるかというようなのは明記していないが、研究会等の中で、どのようにするかも含めて協議していきたい。

杉山 今後、研究会のうちに、今年7月20日に示された「川根本町立学校設置適正化及び教育の

質問 今年の夏休みに川根本町公営塾を利用した中学1年生

22人、2年生18人。計40人が、9月から利用できないと聞く。中学

1年から高校へと継続することによって学力が伸び、学習意欲が増すと考える。早急に、良い案を検討してほしい。

教育総務課長 奥流で開校しており、スペース的なものもあり。現状

3年生以上としている。ご了承していただければと思う。

杉山 例えば、ローテーションで、施設の広いところでやるとかして、中学1・2年生の学習意欲を潰さないようにお願いしたい。

質問 現在、本町の教育委員会、教育委員及び3名の教育委員で組織されている。しかし、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」では、4名の委員で組織し、委員には、保護者が含まなければならないと規定されている。

いつ頃までに、保護者代表の委員を任命する予定か伺う。

教育総務課長 現状1名の保護者代表の教育委員が欠員となっており、人選に苦慮している。早期に人選できるように対応したい。

質問 8月に「全国学力テスト」の結果が、全国、そして静岡県でも公表された。静岡県と本町の結果、平均正答率を伺う。

教育総務課長 当町においては、現在、公表に向けて結果の分析を行っているところである。

教育総務課長 人数が少ないと偏り等が生まれて、平均が、必ずしも児童・生徒の姿を表すとは限らない。個々の児童・生徒のデータを基づいて、分析をし、どこが弱いか、どこを改善すれば良いかということ公表させていきたい。



楽しい授業

議員研修に参加し、資質を高める

【静岡県市町議会 議員研修会】

日時・平成30年7月24日
会場・静岡市「グランシップ」

講演会「報道と人権 ～メディアを読み解く力～」

元NHKキャスター 宮川 俊二 氏

『要旨』

- ① 報道には、「客観報道」「過剰報道」がある。
・オウム事件 ・日大のアメフト事件 ・元都知事のこと など
- ② 国民は、「知る権利」「知られたい権利」をもっている。
- ③ メディアは、人権に配慮して、報道、制作すべきである。
- ④ メディア（報道）を、賢く利活用することも大切である。
・市町の宣伝 ・特産物の付加価値づけ ・観光客を増やす など

私たちは、報道を正しく読み取る力を身につけ、議員活動に生かすことの必要性・大切さを学びました。

【3町議会議員研修会】

日時・平成30年8月23日
会場・森町文化会館

川根本町、吉田町、森町の議員が年1回、各町の課題等について研修を行っています。今年度は最初に講演会を行い、分科会では、各町の代表者が実践を発表し、協議した。

◎ 講演 「最近の町村議会をめぐる動き」

全国町村議会議長会 議事調査部長 鈴木 毅 氏

現行議会のあり方を維持できることを前提に、「集中専門型」と「多数参画型」の2つの議会のあり方が研究されている。

「集中専門型」…少数の専門的議員による議会構成とし、豊富な活動を想定。

「多数参画型」…多数の非専門的議員による議会構成とし、夜間・休日を中心とする議会運営を行う。

◎ 分科会

- 第1 自由討議について（出席者… 藪田・太田・石山）
- 第2 議会運営について（出席者… 坂本・杉山・中野・野口）
- 第3 議会PRについて（出席者… 中田・中原・中澤・澤西）



第1 … 全員協議会の際、自由討論を企画したいと思う。そこから考えられる次につながるテーマが、議員として行政に伝えられるものがある。

第2 … 特に、「一般質問」が、各町の実情に適して、設定されていることを強く感じた。「一般質問の時期」、「質問時間」等である。

第3 … 議会報告会を開くが、人があまり集まらない時もあり、苦労がうかがえた。「議会専用ホームページ」の必要性も感じた。

『議会だより』の作成について学ぶ

【町村議会広報研修会】

平成30年10月9日（東京都「砂防会館」）

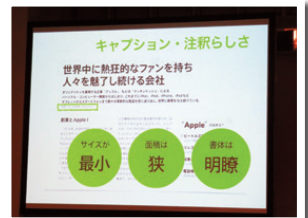
参加者 野口 坂本 杉山 澤西 中原



講話①「読み手に伝わる文章の書き方」

前田 安正 氏

* 「できるだけ多くの人に読んでもらいたい」という気持ちで「文」を書く、「文章」を直す、「差別表現」に留意することの大切さを理解した。



講話②「デザインの力で、もっと伝わる議会広報誌に」

筒井 美希 氏

* 文字の個性（大きさ・太さ・書体）を生かすこと、「レイアウト」の工夫
非言語（写真・図版）による表現のよさを再認識した。



講話③「最優秀賞及び優秀賞作に見る光彩を放つ編集力」

長岡 光弘 氏

* 「住民に寄り添った議会広報誌」「議会の役割が感じられる広報誌」を紹介しながらの講話であり、具体的でわかりやすい学習であった。

シリーズ

町議会ってなんだろう？

～住みよいまちづくりのために～

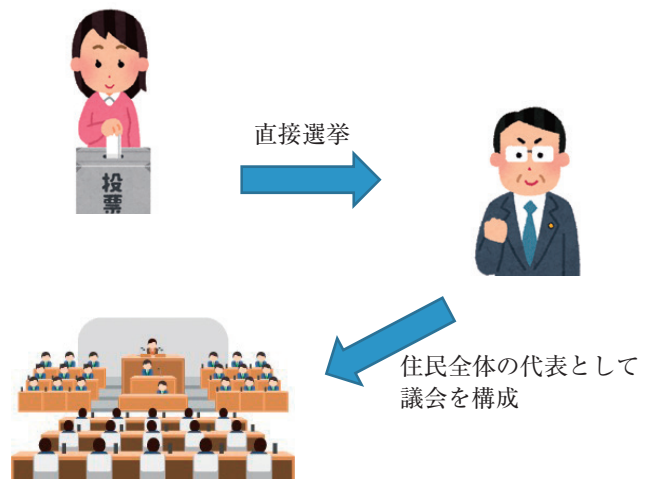


今まで、議会で行われている会議やその流れについて紹介してきましたが、今回は、町議会議員の役割などについて紹介します。

！議員とはどのような人なの？

○住民代表としての議員

地方自治を進めるためには話し合いが必要です。しかし、住民全員が参加して話し合いをすることは現実的に難しいため、住民が選挙で代表を選びます。その代表が議員です。議員は住民のために、主に議会という場で仕事をしています。



！どんな仕事をするの？

議員の仕事は、議会で質疑や質問をすることで、町で行われていることを監視したり、住民の暮らしを良くするために意見を述べたりすることが主なことです。その意見を述べるためには、さまざまな調査や研究活動を行うことが必要です。

役場で行われている事業はいろいろなものがあり、一定以上の知識や情報を持ち合わせていなければ町に質問して答えを得ることは難しいことです。議員は、議会が開かれていないときも、町の事業や制度などを取材するなどして学び、評価するといった仕事を行っています。

皆さん、知っていますか？



《千頭地区・完》 泉頭四郎兵衛(せんずしろべえ)の物語

“千余年を経て語り継がれてきた歴史を伝える”

千頭西、元忠魂碑跡地の横に泉頭四郎兵衛の碑があり、碑文が彫られています。
漢文の碑文を、県の教育委員会文化課の先生や古文書に詳しい宮本先生が、平成19年6月25日に来町し、読み下しました。その内容を元にお伝えします。

宝永年間（1700年初め）に泉頭村差出帳という、代官への届け出書類には（権現様御代御朱印所持仕当村之儀者諸役御免被下候）という一節があります。それにより泉頭村が（助郷などを含む）税としての課役をすべて免除されるという、非常にまれな印可状です。個人ではなく、徳川家康から村に与えられた恩賞であることが珍しく四郎兵衛はじめ村人の節義の高さを伺わせます。

菅原道真公の孫の泉樹が、井川の地に来てから800余年たった1700年頃に、新三郎なる者が歴史の表舞台に現れるが、なぜ四郎兵衛を改めて、新三郎を名乗ったかは不明です。この後、新三郎はトラブルに巻き込まれて、御朱印を、幕府に没収されてしまいました。家康よりの世代代わりがあり、御朱印を持つ百姓など、幕府には邪魔だったかもしれません。新三郎は村を出て行かざるをえなくなり、一族を引き連れて江戸に行き、客死したとされています。

その後、村人が結集して、江戸の新三郎の名誉回復に立ち上がったが、名誉回復が間にあわず、ついに帰ることがかなわなかったということです。

泉頭四郎兵衛については、榛原郡誌にも書かれています。

碑文には、明治5年、官命に依り、社は郷社に附し、堂は観天寺に併す。とあり、四郎兵衛の屋敷跡を、「草分八幡社」として祭る、これは榛原郡誌では、泉頭村の祖先を祭ったものであり、毎年正月の17日に祭礼が行われたとあります。

現在は敬満大井神社のうちに移転され、伝承が絶えないよう、顕彰碑が建てられました。

位牌は観天寺に、今なお眠っています。

四郎兵衛の屋敷内の祠（ほこら）は、多数の発起人の人たちの寄進により、明治の代に、郷平（千頭西）に御位牌堂が建立されました。

泉頭四郎兵衛が信仰していた、伏見稲荷と観音様を祀っています。

戦後になると、次第に忘れられた存在となり、今日に至っています。

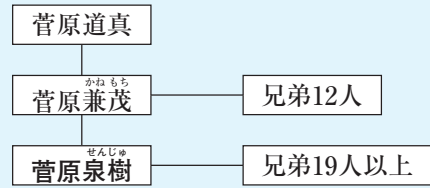
附 記

千頭駅に降り立った観光客に、散策コースとして周遊していただくために、少し整備すれば、と言う気がします。全国には、菅原道真公のファンが多数おられます。

道真公の孫の泉樹の、歴史がそこにあれば、必ずや興味をもっていただけるはずです。

菅原氏系図

広報委員会作成



観天寺（元藤川）



御位牌堂（千頭西）

川根本町の明日を拓く人たち

今回は、「創造と生きがいの湯」（小長井区）の指定管理者で、寸又峡温泉の駐車場整理もしているNPOかわほん元気村を紹介します。スタッフ20名は、草刈り・清掃など“かゆいところに手が届くサービス”を目指しています。

『なにもないという贅沢を』 【こころの元気が一番】

NPOかわほん元気村 代表 山口捷彦

寸又峡温泉、ふっと、お土産店で一枚の絵はがきを手取る。

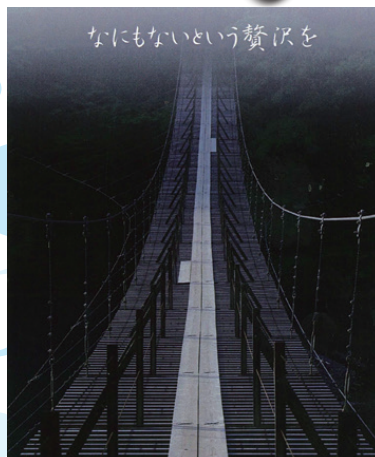
「何もないという贅沢を」何これ？今の時代、こんな小っちゃな田舎での生活でさえ全てIT機械に支配され生きている自分たち。

「あなたは足と車とどちらが大事ですか？」「あなたは水と油とどちらが大事ですか？」「あなたは理屈と行動とどちらが大事ですか？」と問いかける。

台風で余儀なくされた停電生活。いつもは子供たちと時間帯が違うので別々の食事。でも電気がないばかりに、ロウソクでトボトボと、でも、あったかい灯りを囲んでの子供たちとの夕食。今夜は不便だけど温かく優しく見える家族みんなの顔。「なにもないという贅沢を」かもしれない。長々と書かれたパソコンの文章よりも「おはよう」と言う一言が「元気」って言ってくれる明るい声が心を救ってくれる。

今日もこの町のどこかで、寸又峡温泉に来る県内外の、いや外国からのお客さんと心弾んでお喋りしています。こころの元気が一番大事。

どうぞ、あなたも「誰も代わってくれない毎日」を、心元気に過ごしてください。NPOかわほん元気村のメンバーはあなたの元気を応援しています。



今日もどんな出逢いがあるのでしょうか。
寸又峡温泉夢のつり橋



元気が一番。笑い声が弾むケアラズカフェの皆さん（創造と生きがいの湯にて）

◆ 12月定例会の予定 ◆

12月4日	火	9:00~	本会議 (定例会・初日)
		本会議終了後	全員協議会
12月12日	水	9:00~	本会議 (定例会・2日目)
		本会議終了後	議会運営委員会・全員協議会
12月20日	木	9:00~	本会議 (定例会・最終日)

○本会議場は役場本庁3階です。
○日時は変更とすることもありますので、詳しくは議会事務局(56-2229)までお問い合わせください。

**議会はどなたでも傍聴できます。
ぜひ傍聴にお出かけください。**

編集後記

今回は9月30日の台風24号の被害の続く2日に編集作業に入り、広報委員の一人も停電中とのことでした。

由な生活のことだったと察しいたします。9月定例会では、平成29年度一般・特別会計決算認定や川根本町景観条例の制定などが主な議題でした。一般質問には議員の意見・提案・思いなどが込められています。是非、ご一読願います。
(澤西省司)

《議会広報委員会》

皆様より停電の問い合わせには、電力事業は中部電力の管轄で、議員をはじめ行政も正確なお答えができず歯がゆい思いでしたが、中部電力が、早朝から深夜まで連日の復旧作業されたことを感謝しています。

数日間停電された地区の皆様は、大変不自由です。

委員 副委員長 委員長
野口 直次
坂本 政司
杉山 広充
中澤 省司
原西 緑